令和７年度　第１回函南町文化財保護審議会　議事録

１　日　　時　　令和７年６月４日（水）　午後１時 30 分から午後４時 30 分まで
２　会　　場　　函南町文化センター　２階　特別会議室
　　史跡箱根旧街道　甲石坂
３　出 席 者　　委員：山内会長、増島副会長、佐藤委員、齋藤委員、樋口委員
　　（鈴木委員は欠席）
　　事務局：久保田教育長、森田課長、佐藤主査、戸田
４　審議会進行
（１）開　会

（２）教育長挨拶
　久保田教育長より挨拶。

（３）会長挨拶
　山内会長より挨拶。

（４）報告事項
古民具資料の取り扱いについて【資料１】
　令和６年度第２回審議会にて協議した結果を取りまとめ、委員に報告した。
　現在の古民具資料の仕分け作業の進捗状況を報告した。報告後委員に意見を求めた。
　出席委員からは、ずっと進んでいなかったことが、ここで一歩前進したと思う。これを確実に進めていくことだと思うとの意見があった。
　伊豆の国市が進めている文化財展示施設の建設について話題がのぼり、函南町や伊豆の国市という括りでなく、田方地区全体として古民具を展示していくような方向となれば良いとの意見があった。また町としても伊豆の国市に相談をしたらどうかとの意見もあった。
　この意見に対し事務局では、町で展示施設、資料館を建設する考えは、これまでなかった。今ある資料をどう保存するかに重点を置いていた。委員の発言にあるように「田方地区として」という考え方はあり得ると感じた。伊豆の区市に聞いて調査・研究してみたいと回答した。

（５）現地視察　【資料２】
　現地視察に先立ち、史跡箱根旧街道災害復旧整備事業についてこれまでの経緯

と災害復旧整備工事の完成状況について報告した。

報告後、箱根旧街道へ移動し、視察を実施した。令和７年度の工事概要の説明の後、以下の懸案事項について委員から意見を聴取した。

ア　施工状況の確認と歩行性

・路面が舗装され歩きやすくなった。

・舗装箇所と未舗装箇所の境で洗堀が始まっている。

・スロープは効果を発揮しているが、冠水すると通行しにくい。

・ボトルユニットの効果は大きい。

・ボトルユニットを安全に通行するための階段設備は必要との説明に納得した。

イ　その他災害箇所

・法面崩落個所は以前見た時よりもひどくなっているのでは？

・災害箇所は三島市の地籍で、かつ箱根山組合所有地（民地）であることが問題を複雑化している。

・原因は三島市にあり、函南町がとばっちりを受けている。

ウ　学校教育での活用

・桑村小学校が原生林から山中城まで歩いている。その行程に箱根旧街道を組み込んでもらう事ができるかもしれない。

・小中学校から距離が離れている。往復だけでも半日を要する。学年全体よりも少人数をターゲットにしても良いと思う。

エ　その他意見

・整備に対する文化庁と国交省の考え方が異なる。同じ国の機関なら横の連携が必要。

・根本的な排水問題は解決していない。今後の大雨により再度災害に見舞われる可能性が高い。与えられた条件の中で函南町はここまでやったという事実をしっかり主張すること。

（６）閉会

森田課長